

## 石川県立こころの病院で診療を受ける(受けた)皆様へ

### —診療データの調査研究への使用のお願い—

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。本研究は、石川県立高松病院の倫理委員会の審議に基づき、院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、各研究の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	精神科病院における認知症者の調査			
2. 対象患者	1985年～2012年までの期間、認知症病棟に継続して入院した166名の方です。			
3. 研究期間	2016年 6月 ～ 2017年 1月			
4. 研究責任者	氏名	竹内 陽子	所属	岐阜聖徳学園大学 看護学部
5. 研究の意義	精神科病院において認知症と診断され入院し、死亡退院まで在籍した方の日常生活動作能力と認知機能の実態を明らかにすること			
6. 研究の目的	認知症者への予防的な看護において示唆を得ることを意義とします。			
7. 研究の方法 (使用する資料等)	N式老年者用日常生活動作能力評価尺度:New Clinical Scale for Rating of Activities of Daily Living of the Elderly(N-ADL)と、N式老年者用精神状態尺度:New Clinical Scale for Rating of Mental States of the Elderly(NMスケール)を、入院時から退院時まで評価を継続していた1985年～2012年に入院していた方が対象となります。診療録から匿名化で調査を行います。データは入院時の年齢、性別、認知症診断名。および(1)入院時から死亡退院までのN-ADL とNMスケール得点。(2) 入院から死亡退院した平均在院年数。(3) N-ADLとNMスケール得点の関係性。以上についての調査。			
9. 個人情報の保護	本研究では、情報は匿名化され個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。			

10. 研究協力の任意性と撤回の自由	上記の研究対象に該当する患者さんは既にお亡くなりになられていますが、そのご家族様で、「データは使わないでほしい」というご希望がある方は、以下の連絡先にご相談ください。								
11. 利益相反に関する状況	この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものでなく、利益相反状態にはありません。								
12. 問い合わせ先 責任者	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="611 589 1533 656">岐阜聖徳学園大学 看護学部 竹内 陽子</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 656 719 712">電話</td> <td data-bbox="719 656 1533 712">058-279-6215(研究室) FAX</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="611 712 1533 768">分担者 石川県立こころの病院 看護部 村上貴恵(橋本貴恵)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 768 719 815">電話</td> <td data-bbox="719 768 1533 815">076-281-1125</td> </tr> </table>	岐阜聖徳学園大学 看護学部 竹内 陽子		電話	058-279-6215(研究室) FAX	分担者 石川県立こころの病院 看護部 村上貴恵(橋本貴恵)		電話	076-281-1125
岐阜聖徳学園大学 看護学部 竹内 陽子									
電話	058-279-6215(研究室) FAX								
分担者 石川県立こころの病院 看護部 村上貴恵(橋本貴恵)									
電話	076-281-1125								